

第4回岩倉市子ども行動計画策定委員会 議事録

日 時 平成24年11月27日(火)午後1時30分から
場 所 岩倉市役所 第2委員会室
出席者 委員8名、事務局6名

議 事 (1)ワークショップの報告について
(2)子ども行動計画骨子案について
(3)意見交換

配布資料 第4回岩倉市子ども行動計画策定委員会 次第
資料1 第3回岩倉市子ども行動計画策定委員会議事録
資料2 「高校生による高校生のための場づくり I-Spot」ワークショップ開催報告
資料3 岩倉市子ども行動計画骨子案について

1 はじめに(開会)

2 議事

(1)ワークショップの報告について

- ・ワークショップと子ども行動計画はどうつながっているのか。
→今回のワークショップを通じて、高校生と小学生という年齢の異なる子どもたちが一緒に何かをすることの意義が感じられた。まちの中で高校生が目立つようになれば、地域でも子どもを見守るという視点ができてくるのではないか。(事務局)
- ・高校生と小学生の異世代交流だけではなく、岩倉市の伝統を一緒に体験できたことは大変良い。今回のワークショップはあくまでも手段の一つであり、これをきっかけに高校生が主体的に活動できるようになると良い。いつの間にか自然と高校生が岩倉の様々なところに目を向けていけるようになれば良い。
- ・地域の子どもの会のような組織が発展し、小・中学生、高校生、大学生と一緒に参加するお祭りや歴史や文化について学習する機会などがあると良い。
- ・高校生の中には自分の居場所がない子どももいる。そういった子どもが自分の力を発揮できる場になっていくと良い。
- ・次年度も継続して取り組む場合は、計画段階で組み込まれるよう早めに高校へご連絡いただけると良い。

(2)子ども行動計画骨子案について

○全体構成について

- ・目標5の「子育ての支援」も子ども行動計画の対象となるのか。
→子ども行動計画は子ども条例に基づく計画であり、条例第17条に「子育ての支援」についての記載があり、取り上げる必要があると考える。次世代育成支援行動計画とのバランス

をみながら記載していきたい。(事務局)

- ・既存の子どもに関わる団体についても記載があった方が良い。
 - ・次世代育成支援行動計画では数値目標の設定義務があり記載されていたと思うが、子ども行動計画にも記載できないか。
 - ・施策の主体となる人(担い手)について、どこかに謳われていると良い。
- 目標1「子どもの居場所づくりの推進」
- ・市民と協働して進めるといった記述にした方が市民も関わりやすくなるのではないか。
 - ・2(2)「校庭をはじめとした学校開放の推進」について
誰が推進していくのかがわかりにくい。最近、コミュニティ・スクール制度の動きがあるが、そうしたことを進める場合はそれなりの体制が必要になる。
 - ・元気な高校生の姿がまちで見られるとまちの活性化にもつながる。子どもにとってどんな居場所が必要か、まずは子ども、ユースワーカー、市民、行政と一緒に考えていくことが岩倉市には合っているのではないか。
 - ・既存施設をどのように使っていくべきかを子どもと一緒に考える大人が必要であるということが分かる内容になると良い。
- 目標2「子どもの意見表明・社会参画の促進」
- ・意見表明・参画の促進を進めるには、児童館が意見を言える場所になっていること、子どもたちが意見を言える場所だと知っているということが重要。
 - ・意見表明とまでいなくても、まちを見て気付いたことを子どもたちが市民や保護者に発表できると良い。
 - ・1(2)「にこにこシティいわくらの拡充」について
にこにこシティいわくらに限らず、もっと幅広い内容を対象としたタイトルの方が良い。
 - ・2(1)「各校の児童会や生徒会が参加する連合会の組織化」について
連合会とは何か。この項目はなくても良いのではないか。
- 目標3「子どもを見守る環境づくり」
- ・1(1)「虐待、体罰、いじめ等からの救済のための連絡強化」について
ユースワーカーの役割が見えると良い。目標1～3にユースワーカーの役割が入ると計画全体が整うのではないか。
 - ・ユースワーカーの育成は大変ではあるが、まずは入口を見つけて進めていけると良い。
 - ・子どもが嫌なものは嫌だと言えるようにその力をどう引き出してあげられるか、プレリーダーの力を持っている人、子ども会議を上手に運営していける人といったユースワーカーそもその意義が欠如している場合が多い。ユースワーカー発祥の地であるイギリスでは、15～16時間のプログラムにそって研修するといったユースワーカー研修の仕組みがある。
- 目標5「子育ての支援」
- ・2(1)「子育てに関する意識啓発の促進」について
生まれたばかりの乳幼児にも権利があるということを記載できないか。外国には劣悪な環境の保育所があり、そうしたところでは乳幼児の権利について考えられている。
 - ・2(2)「若い親に対する学習機会の提供」について

若い親はシングルの場合も多い。「男女が協力して」と記載するのはどうか。

3 その他

- 次回の策定委員会は来年1月末頃の開催を予定している。日時は改めて調整させていただきたい。今回いただいたご意見を元に計画内容を修正し、次回は計画案とあわせて資料編も提示したい。

以上